

村民の医療費と 国民健康保険特別会計の現状

国保会計は、国保に加入している皆さんが納めていただく国保税と国・県の補助金及び決められた分だけの一般会計からの繰入金だけでまかなうのが原則です。

本村の国保会計の現状は、医療費の増加に伴い、保険給付費が増加し、財源が不足することから一般会計から決められている額以上の多額の金額を繰り出している状況で非常に苦しい財政運営にあります。

今後も超高齢化社会の進展に伴い医療費の高騰が予想されるので、被保険者及び医療費の動向等を勘案して、適正な国保税の改正を図り自主財源の確保に努めることが肝要です。

なお、疾病については、以前から循環器系の疾患が多く、その中でも高血圧性疾患、脳梗塞など疾患の占める割合が大きくなっております。

また、平成20年度よりメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査が始まり、平成20年度受診率は、県内で1位となっておりますが、今後もより一層の周知等により高い受診率を維持し、疾病の早期発見や治療者に対する重症化に向けた早期介入を進めていき、医療費の抑制に努めていかなければなりません。

医療費は今後増えていくことが危惧されますが、医療費の抑制のためには、みなさん一人一人の日頃からの健康づくり等の心がけ、医療費の節約をすることが重要なのです。

上手なお医者さんのかかり方

- ① 医療機関のかけもちはやめましょう。
- ② 時間外、休日受診はなるべくやめましょう。
- ③ 自分勝手に薬を調整したり、薬をたくさん欲しがるのはやめましょう。
- ④ かかりつけ医をもちましょう。
- ⑤ 医師の指示を守り、不明な点や気になる症状は早めに医師・看護師に相談しましょう。

人口と高齢者の推移

人口規模が小さく高齢人口も高いです。平成16年度以降、前期高齢者(65歳～74歳)より後期高齢者(75歳以上)の人口が増えています。

高齢化率も35%を超えており、一部の地域は、高齢化率50%を超える地域もあります。

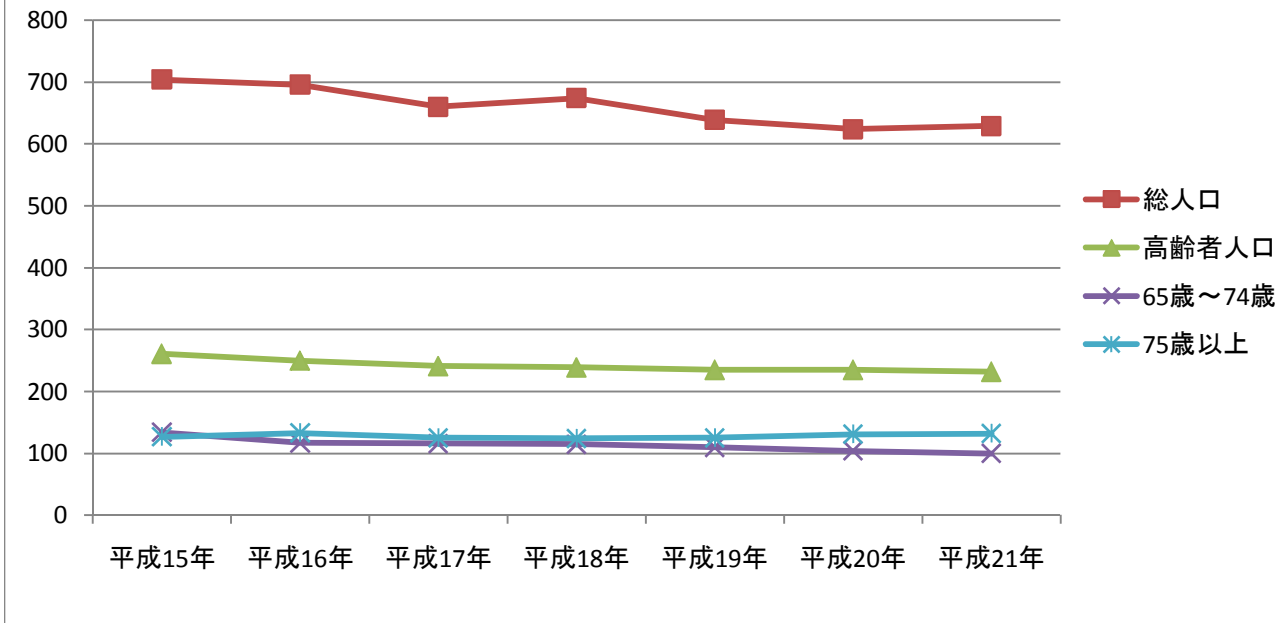
地域での支え合いが重要な課題となっております。

人口と高齢者の推移

21.9月末日現在

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総人口	704	696	660	674	639	624	629
高齢者人口	261	250	241	239	235	235	232
65歳～74歳	134	117	116	115	110	104	100
75歳以上	127	133	125	124	125	131	132
高齢化率%	37.1	35.9	36.5	35.5	36.8	37.7	36.9

人口と高齢者の推移



各島の高齢化の現状

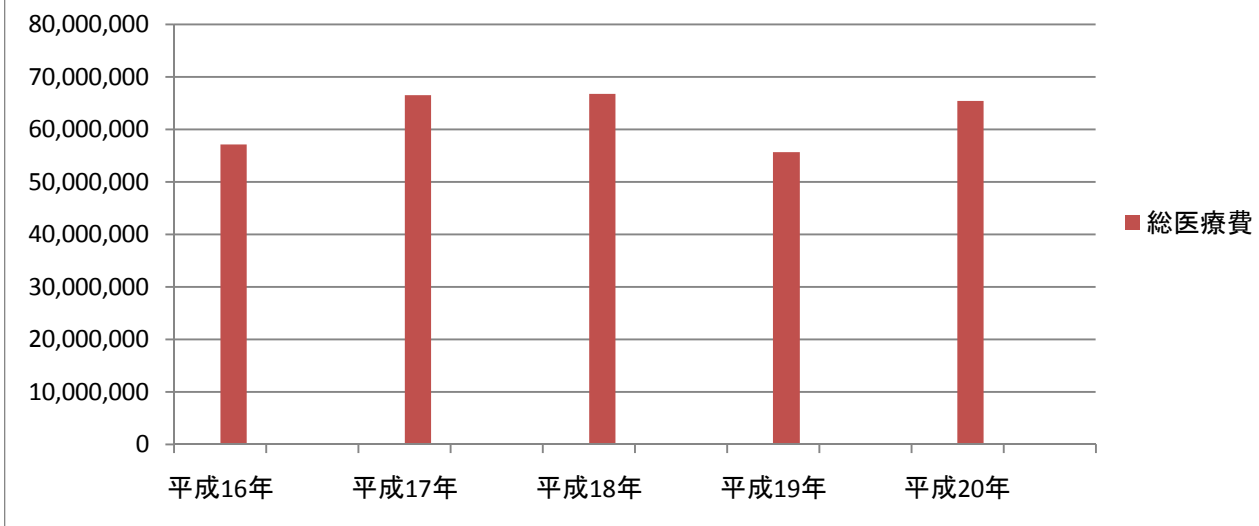
21.9月末日現在

	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島
高齢化率	54.17	45.45	30.38	23.53	19.12	13.79	40.91

十島村の医療費の状況

本村の医療費は、平成19年には減少しておりますが、平成20年より増加傾向にあり、今後、超高齢社会の進展に伴い、ますます医療費が増加していくことが考えられます。

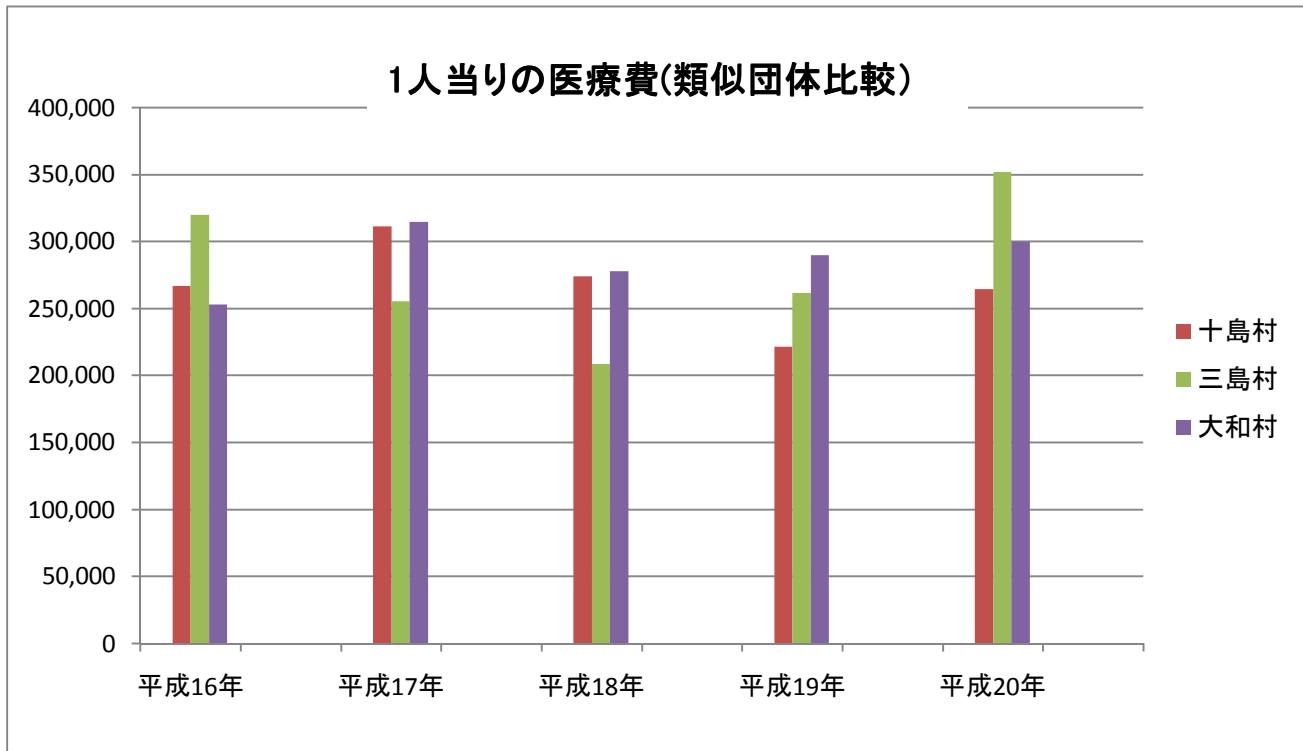
総医療の推移



国保被保険者の医療費の推移

区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総医療費	57,106,350円	66,527,370円	66,747,460円	55,718,500円	65,463,860円
被保険者数	248人	241人	248人	259人	258人
1人当たり医療費	230,268円	276,047円	269,143円	215,129円	253,736円

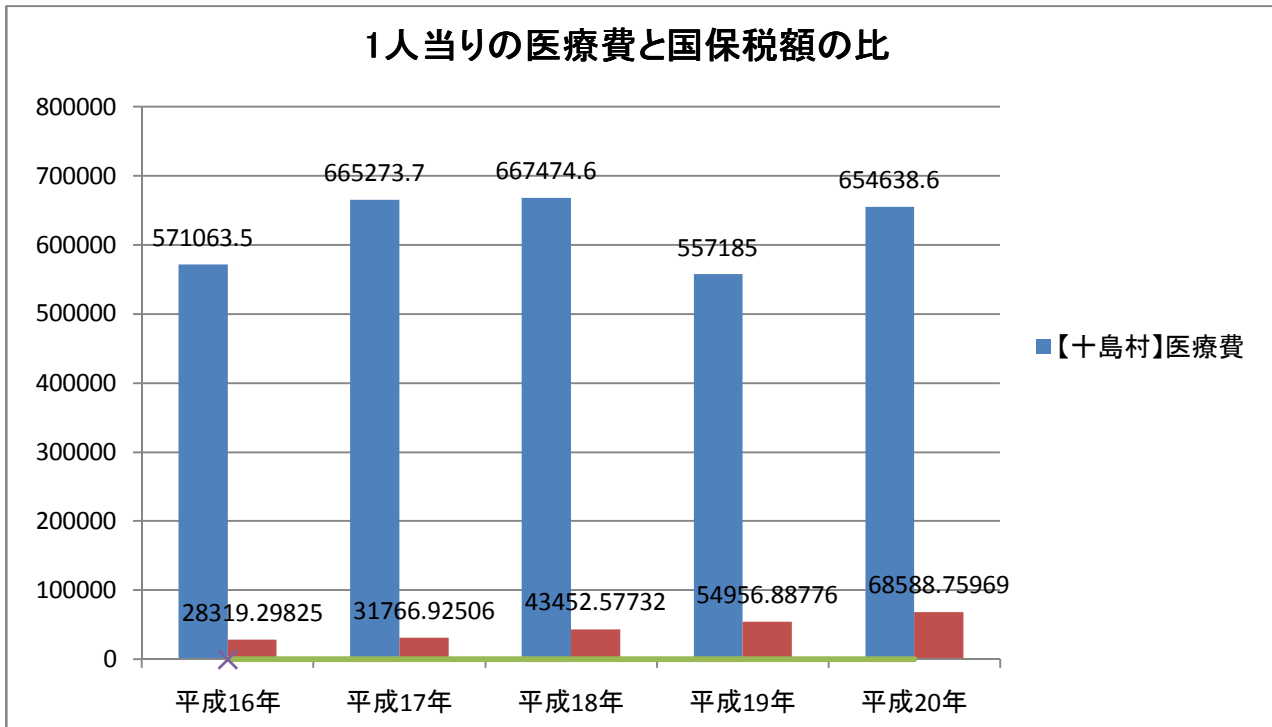
1人当たりの医療費については、平成19年には減少しておりますが、平成20年より増加傾向にあります。類似団体とともに言えることなのですが、被保険者数が少なく、高額医療の方が、2、3人でも発生しますと医療費が急激に高くなり国保財政に影響を及ぼします。



類似団体1人当たりの医療費推移

区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
十島村	267,013	311,214	273,829	221,593	264,697
三島村	320,131	255,398	208,502	261,790	351,937
大和村	252,948	314,532	278,107	289,694	300,030

医療費が増えれば、国保税にも影響します。



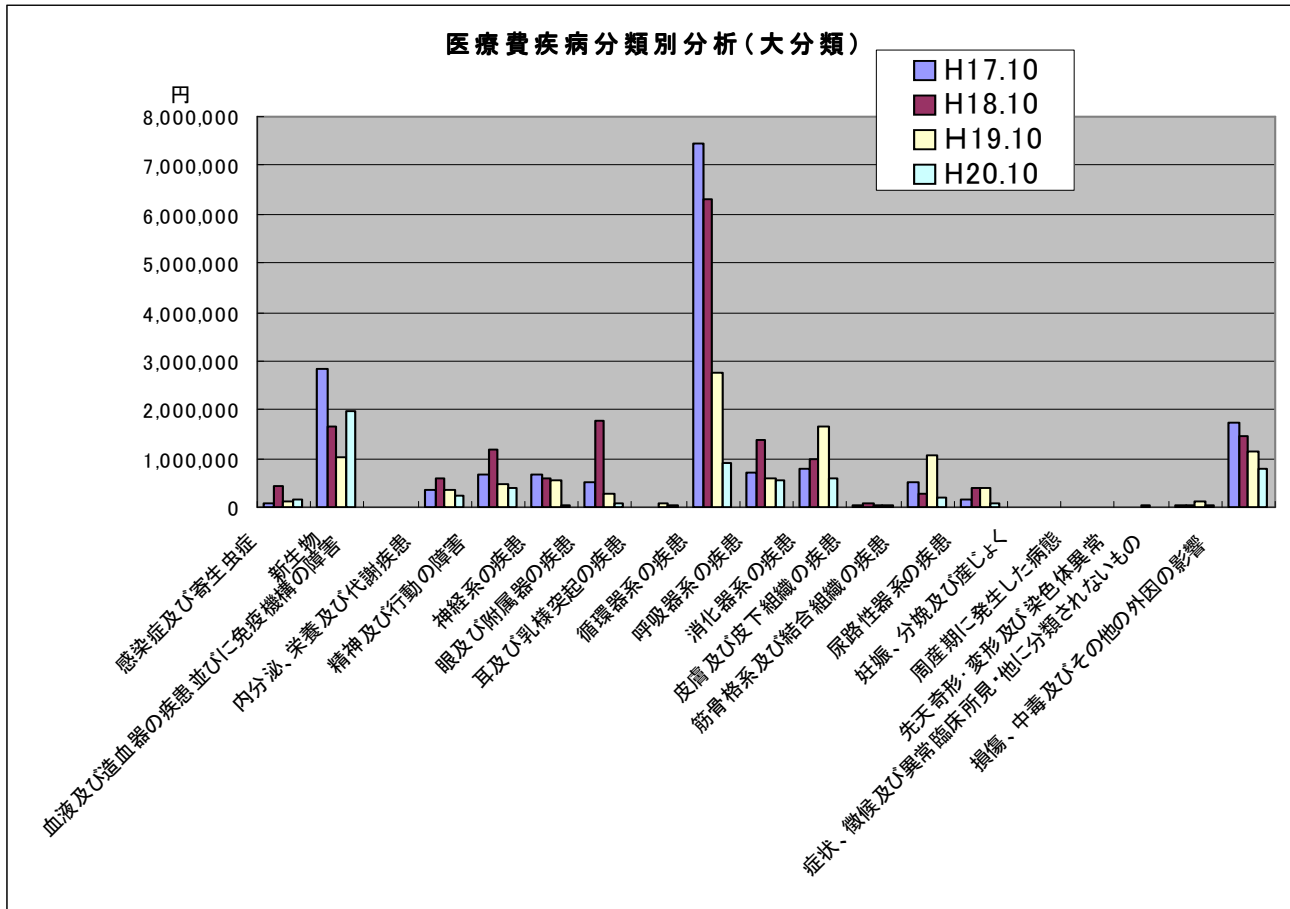
医療費を抑えるためには、若年期から健康診断等を受診して、病気の早期発見・早期治療が大切です。日頃から生活習慣病予防に心がけましょう。

医療費を大切に！！

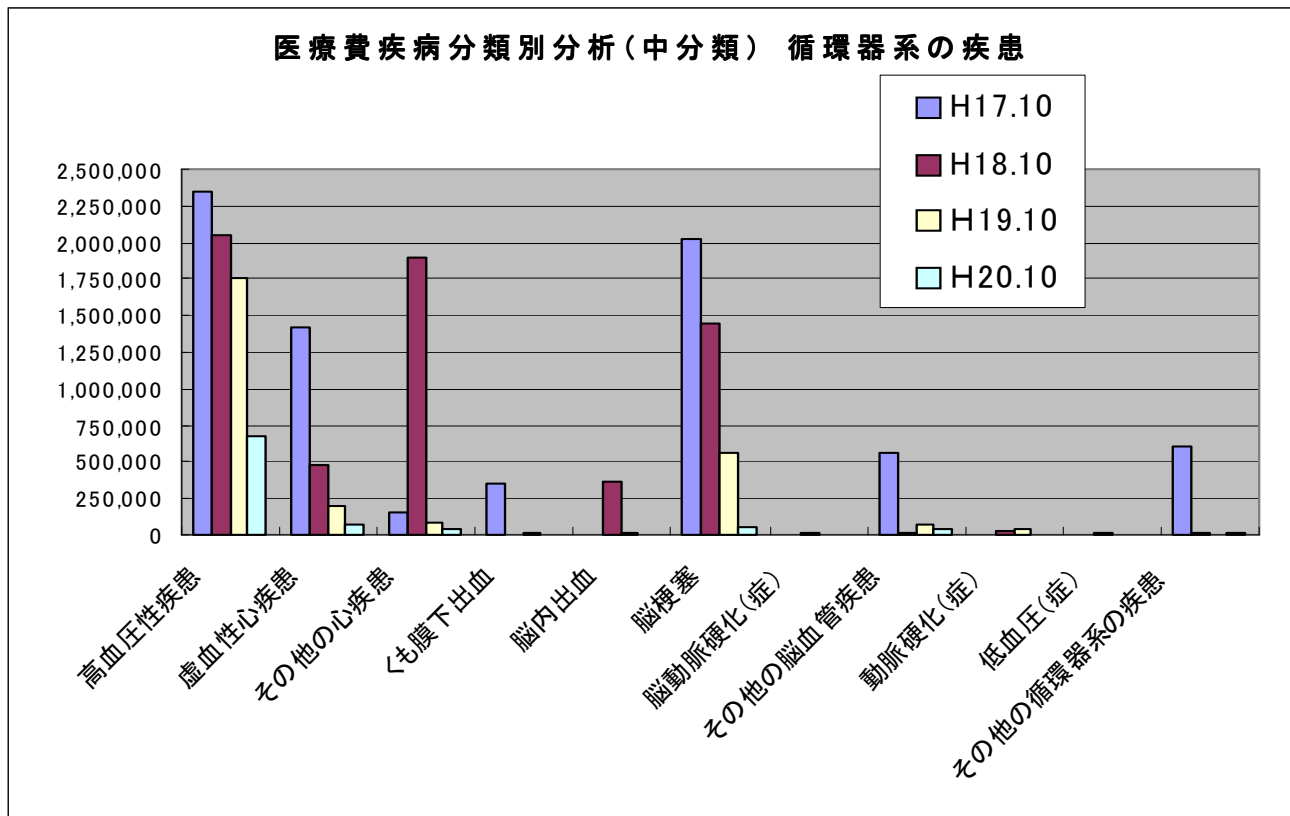
医療費が増えると国保財政を圧迫し、国保税を引き上げざるをえません。そうならないためにも日頃からの健康づくりに心がけましょう。

国保の疾病分類の状況

疾病については、①高血圧性疾患などの循環器系の疾患、②がんなどの悪性新生物、③胃かいようなどの消化器系の疾患が多いようです。

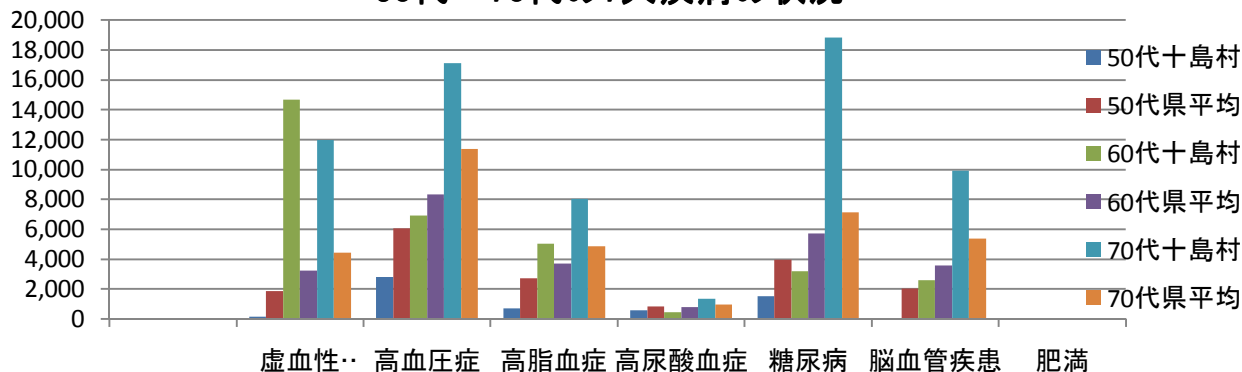


循環器系の疾患の内訳として、「高血圧性疾患」が多くを占めます。次いで「虚血性心疾患」「脳梗塞」等の疾患がみられます。



50代～70代の7大疾病の状況です。50代については、全ての疾病において県平均を下回るのですが、70代については、全ての疾病において、県の平均を上回っております。また、虚血性心疾患・糖尿病については、県平均の倍以上の医療費となっております。特に生活習慣病の占める割合が高いことから、医療費抑制のためには、主な疾病の原因となっているメタボリックシンドロームの予防が重要と言えます。

50代～70代の7大疾病の状況



区分	虚血性心疾患	高血圧症	高脂血症	高尿酸血症	糖尿病	脳血管疾患	肥満
50代十島村	163	2,812	696	588	1,531	0	0
50代県平均	1,856	6,045	2,711	828	3,949	2,042	30
60代十島村	14,674	6,939	5,017	462	3,174	2,583	0
60代県平均	3,240	8,340	3,697	803	5,706	3,584	35
70代十島村	11,987	17,109	8,050	1,356	18,819	9,938	0
70代県平均	4,415	11,365	4,875	958	7,124	5,380	27

特定健診の結果について

特定健康診査は、メタボリックシンドロームに着目した健康診査です。内臓脂肪の蓄積を把握することにより、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的としています。

十島村は、昨年度、鹿児島県内で1位の受診率でした。平成21年度は、平成20年度よりも高い受診率が見込まれます。

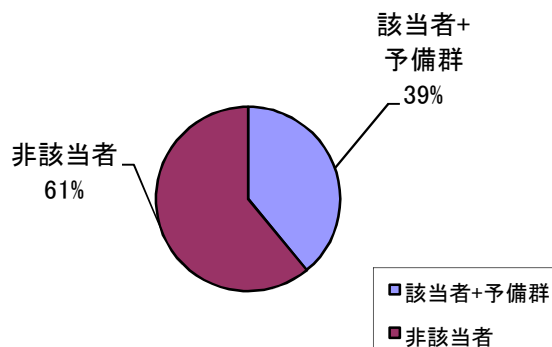
十島村の3割の方がメタボリックシンドローム及び予備群です

生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積が原因となることが多く、肥満に加えて、高血糖、高血圧といった状態が重複した場合には、脳血管疾患などの発症リスクが高くなります。内臓脂肪は、適度な運動とバランスのとれた食事により減らしていくことが可能です。

**まず自分ができることから！
運動や食生活の改善を行きましょう！！**



40～74歳男性メタボリック症候群基準 該当者及び予備群の割合



40～74歳女性メタボリック症候群基準 該当者及び予備群の割合

